

KFAW 国際理解セミナー「アジアで最も男女平等が進む国・フィリピン講演会」 (2020年1月18日)

日時	2020年1月18日(土) 13:30~15:30
場所	北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階大セミナールーム
講師	セシリア・ファンタスティコさん (フィリピン/ジェンダーアドバイザー)
参加者	51名

今回は、フィリピン・ジェンダーアドバイザーのセシリア・ファンタスティコさんに「フィリピンにおけるジェンダー平等：経験を共有しよう」というテーマで、参加者に質問を投げかけながらフィリピンの歴史や文化を背景にお話していただきました。

〔講演要旨〕



フィリピンは正式にはフィリピン共和国、首都はマニラで、7,641の島々からなる諸島国です。人口は約1億800万人、世界で13番目に人口が多い国です。15歳から64歳までの生産人口割合が64%と高く、65歳以上の人はわずか5%です。

基礎教育では男子のほうが多いが、家族を養うため中退するものが多く、高等教育に進み雇用され、昇進する機会を与えられるのは女子が多いです。しかし意思決定・政策決定ができるポジションにいるのは、大抵男性です。これに対しては男女の雇用機会均等そして昇進に関する均等法があります。また技術職業訓練校を卒業したのは女性のほうが多く、今では、エンジニア、自動車産業にも女性が進出するようになりました。男女それぞれで就業している割合は、男性が75.1%、女性は46.6%で男性が上回ります。フィリピンでは男性がいわゆる大黒柱、稼ぎ頭で、女性は出産したら家にいるように期待されます。また海外出稼ぎ労働者は特に若い女性に多く、家事手伝いやエンターテイメント産業に従事することが多く、労働環境の影響を受けやすいため多くの問題があります。

次にフィリピンではこれまで16人の大統領を輩出してきましたが、その中で2人は女性大統領です。そして現在国会（上院）には24人中7名の女性議員がいます。2006年以来フィリピンはグローバルジェンダーギャップ指数のトップ10に入っています。しかし残念ながら昨年フィリピンは16位に落ちてしまいました。これは女性の議員と閣僚の数が減少したためです。

フィリピンの創造神バトハラ（BATHARA）は女性でした。フィリピンの神話では、男

性と女性は同時に竹竿から生まれたと信じられています。またババイラン (Babaylan) と呼ばれた女性が、司祭や神父、病気などを治療する人、貿易商人、地域のリーダー、兵士、そして母として活躍していました。植民地以前のフィリピンでは、女性は賢者として高い位置で崇められ大切にされていました。

その後スペインがフィリピンに入植し、333年間、剣と十字架で支配しました。その結果、良い女性というのは従順で信心深く、子育てをし、家事が全部できる女性とされました。

しかしフィリピン人女性は束縛されることを拒否しました。そして入植者から国の独立を勝ち取るために、男性と共に肩を並べて戦いました。私たちは男性と協力して、フィリピン人男性と同等の地位を獲得するために、今も努力を続けているのです。

男女間の不平等をなくすには地域、家庭、学校、教会などの宗教的な場所、政治分野での努力が最も必要です。

【地域】

昔は洗濯は女性の仕事と考えられ、地域の中で男性が洗濯物を干すという光景は見られませんでした。現在ではメディアの影響もあり、男性が「料理や洗濯ができる」と自慢げに言うことができるようになりました。もし家事が全部できるという男性がいたら、女性はその男性にとっても魅力を感じると思います。

【学校】

かつては子育てが女性の役割と考えられてきましたが、今では父親も母親もその責任を分担するようになってきました。そして学校では、性別に関わりなく、家庭科、技術、機械について教えるようになりました。また、奨学金も男女間の不平等をなくすのに有効です。例えば女子がエンジニアになるというときに奨学金が支給され、これによって女性のエンジニアが増えることとなります。フィリピンでは昔は生徒会長は男子の仕事、書記は女子の仕事でした。今では、生徒会長には最も賢くて1番リーダーシップが発揮できる子どもを選ぶようになり、男女関係なくなれるようになりました。

【宗教】

聖書の中では「女性は男性に仕えるもの」と考えられました。しかしこの考えは変わり、「女性は男性に仕える」プラス「男性は女性を愛さなくてはいけない」となりました。カトリックの教義の中では「愛する」というのは自分の全てを投げ出して、相手のために何かを行うことです。夫は、自分を差し置いてでも妻を大事にしなくてははいけません。夫は妻を愛すると、自然と妻も夫を大事にするようになります。キリストに仕えた12人の使徒たちは全員男性でした。聖書の中ではキリストは女性の信奉者を快く受け入れているので、キリストはフェミニストだと思います。

【政府】

男女平等を推進する上で大きな役割を果たすのは政府です。今では法律によって女性は軍隊に入ることができるようになりました。女性がかつて夜の10時以降に外出することが禁じられていましたが、現在は何時でも好きな時に外出することができます。これまで女性に対して閉ざされていた扉を、政府が開けることによって、ジェンダーの不平等を少なくすることができます。

女性が望みさえすれば何にでもなれるということです。

マハトマ・ガンジーの言葉を紹介します。

「あなたが行うことはあまり重要ではないことかもしれないが、それをすることがとても重要なのである。」

自分が今置かれている立場で、例えば家族、学校、地域の中で自分ができることをやってみましょう。

続いて、アメリカ合衆国最高裁判所判事ルース・ベイダー・ギンズバーグの言葉です。「女性が真に男性と同等の権利を獲得するのは、次の世代の人々を育て上げるという責任を男性が等しく背負うようになったときです。」

ありがとうございました。

最後には活発な質疑応答が行われました。男性の意思決定者は紛争を「力」で解決しようとするが、女性の意思決定者は、「心」で解決しようとするという話は多くの方の印象に残ったのではないのでしょうか。

